

2013年12月期 第2四半期 決算説明会

サイオステクノロジー株式会社

(東証マザーズ : 3744)

2013年7月30日



Contents



1. 2013年12月期 第2四半期 決算概要

2. 中期事業戦略と2013年12月期業績予想

1. 2013年12月期 第2四半期 決算概要



2013年12月期 第2四半期 決算概要



売上高 3,278百万円 (前年同期比 10.0%増)

2桁成長

- 「Red Hat Enterprise Linux」*や、OSS*に関する各種コンサルティングサービスは堅調に推移
- 「LifeKeeper」*は、国内販売が牽引し増加
- MFP関連ソリューション*は、順調に伸長
- クラウド分野の製品・サービスの導入が堅調に推移

営業利益 147百万円 (前年同期は △0百万円)

EBITDA 181百万円 (前年同期比 24.3%増)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

大幅増益

- 前期よりシステム導入支援における大型案件が減少したものの、増収要因で吸収し増益
- 利益減少要因であった米国子会社のれん償却額が2012年6月に終了 (前年同期は米国子会社のれん償却額114百万円)

※ 「*」を付した用語につきましては、P24に解説を記載しております。

2013年12月期 第2四半期 業績（連結）



単位：百万円	12年12月期 1-2Q実績	13年12月期 1-2Q実績	差額	増減率
売上高	2,980	3,278	+297	+10.0%
売上総利益	1,186	1,290	+104	+8.8%
販管費 (内のれん償却額)	1,186 (118)	1,143 (6)	△43 (△112)	△3.7% △94.7%
営業利益	0	147	+148	-
経常利益	△ 2	157	+160	-
当期純利益	△ 45	116	+162	-
EBITDA	146	181	+35	+24.3%
(連結社員数)	228名	232名	+ 4名	-

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

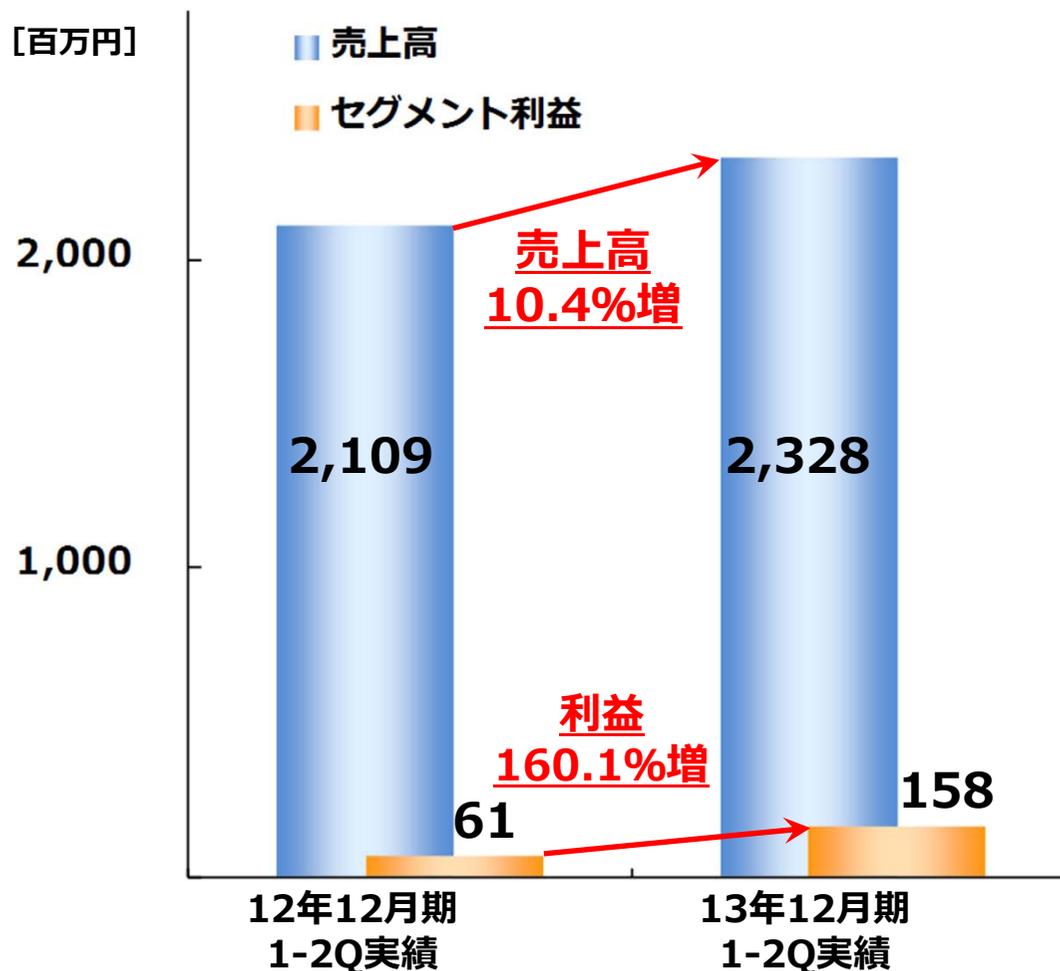
※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

※当社グループは連結経営で企業価値向上を図っているため、各社単体の決算は表示を省略

オープンシステム基盤事業について



売上高 2,328百万円 (前年同期比 10.4%増)
セグメント利益158百万円 (前年同期比 160.1%増)



売上高

[国内]

- ・ 自社製品「LifeKeeper」は増加
- ・ 「Red Hat Enterprise Linux」も堅調
- ・ OSSに関する製品・サービスが順調に伸長

[海外]

- ・ アジア・オセアニア地域が堅調

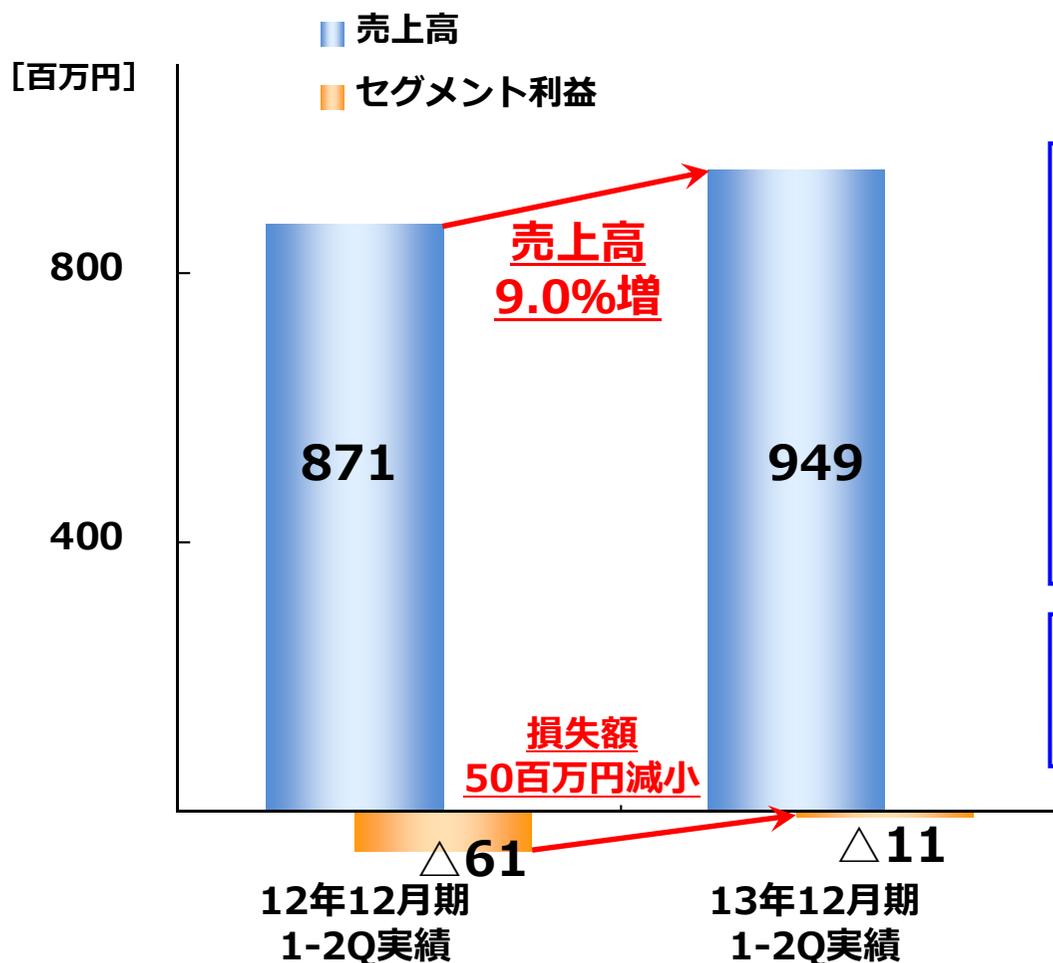
セグメント利益

- ・ 上記の増収要因により、利益は増加

Webアプリケーション事業について



売上高 949百万円（前年同期比 9.0%増）
セグメント損失△11百万円（前年同期は △61百万円）



売上高

- ・ MFP関連ソリューション* は順調に伸長
- ・ クラウド分野の製品・サービスは順調に推移
- ・ システム導入支援に係る大型案件が減少

セグメント利益

- ・ 売上が順調に増加し、損失額が減少

OSSサポートサービスの拡充

サポート対象の拡充、体制の強化により、
企業のOSSおよびクラウド化を支援！



80種以上のOSSをサポート！

- 世界190か国以上、数十万社のビジネスを支えるAWS(amazon web services)のOSSサポートサービスを開始 **New!**
 - 低価格な「OSSよろずサポートパック for AWS」を提供
- 「サイオスOSSよろず相談室* for Cloud」の提供開始 **New!**
 - Windows Azure™ 上に構築されたシステムに対してOSSサポートを提供
 - クラウド化を進める企業が増える中、クラウド環境のOSSサポートにも対応
- 「MIRACLE ZBX」をサポートサービスに追加 **New!**
 - ミラクルリナックス社のシステム統合監視ソフトウェア「MIRACLE ZBX」をサポート対象に追加

スキャナーアプリケーション「QuickスキャンV2」と マイクロソフト「Office 365」の連携機能を開発

- 紙文書を電子文書へ変換し、クラウドワークスタイルを支援
- 今後2年間で**10,000本**の「QuickスキャンV2」導入を目指す



グルージェントがソフトバンクテレコムと提携



ソフトバンクテレコムとクラウド事業分野で提携
Google Apps利活用を全国各地、様々な業種のお客さまへ推進



クラウドサービスを開発
販売する当社100%子会社

クラウド事業分野で提携



ソフトバンクテレコム
「Google Apps」の販売
で2012年度世界第一位

技術力

クラウドやスマートデバイスにおいて、
Google Apps™*を中核に提供体制構築

営業力

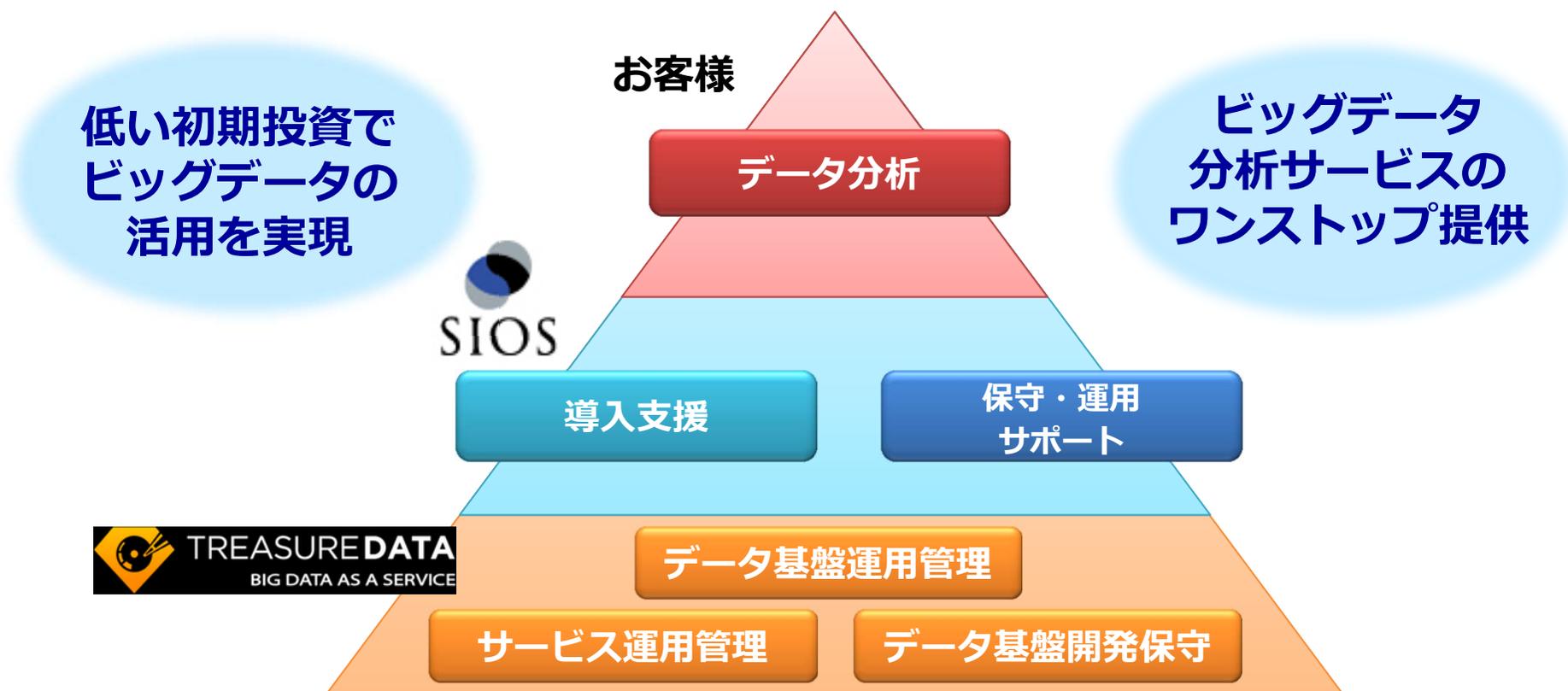
付加価値
サービス

- ・グルージェントのソリューション開発技術・提案
- ・ソフトバンクテレコムの法人向け営業力・既存顧客
- ・両社ソリューションの相互販売を実施
- ・共同でのマーケティング活動実施中

モバイル
回線

ビッグデータ分析のパッケージ販売開始

オンラインゲーム事業者向けビッグデータ分析パッケージ
「SSTDソリューションパック for オンラインゲームス」を販売開始



- ▶ 当社は、米国トレジャーデータ社が提供する大規模データ蓄積のためのクラウドサービスと周辺OSSの導入支援サービスを提供

新本社の移転および業務開始

東京都港区虎ノ門から港区南麻布へ移転し、
7月16日（火）より新本社で業務を開始

■ 移転理由

高い売上伸長とコスト削減を同時に実現すべく、中長期的な収益力強化に向けた取り組みを推進するため

- 本社移転による**固定費等の圧縮**（当期**5百万**、来期および再来期は**65百万円の削減**見込み）
- 各子会社を集約し、グループ総合力を活かした事業領域の拡大
- 本社機能を統合し業務効率化を推進

■ 業績への影響

本件移転にともなう関連費用は、2013年12月期の業績見通しへ織り込み済み



■ 新住所

〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3

■ 新代表電話番号

Tel : 03 - 6401-5111

中部営業所の開設

中部地区における営業拠点として、中部営業所を開設

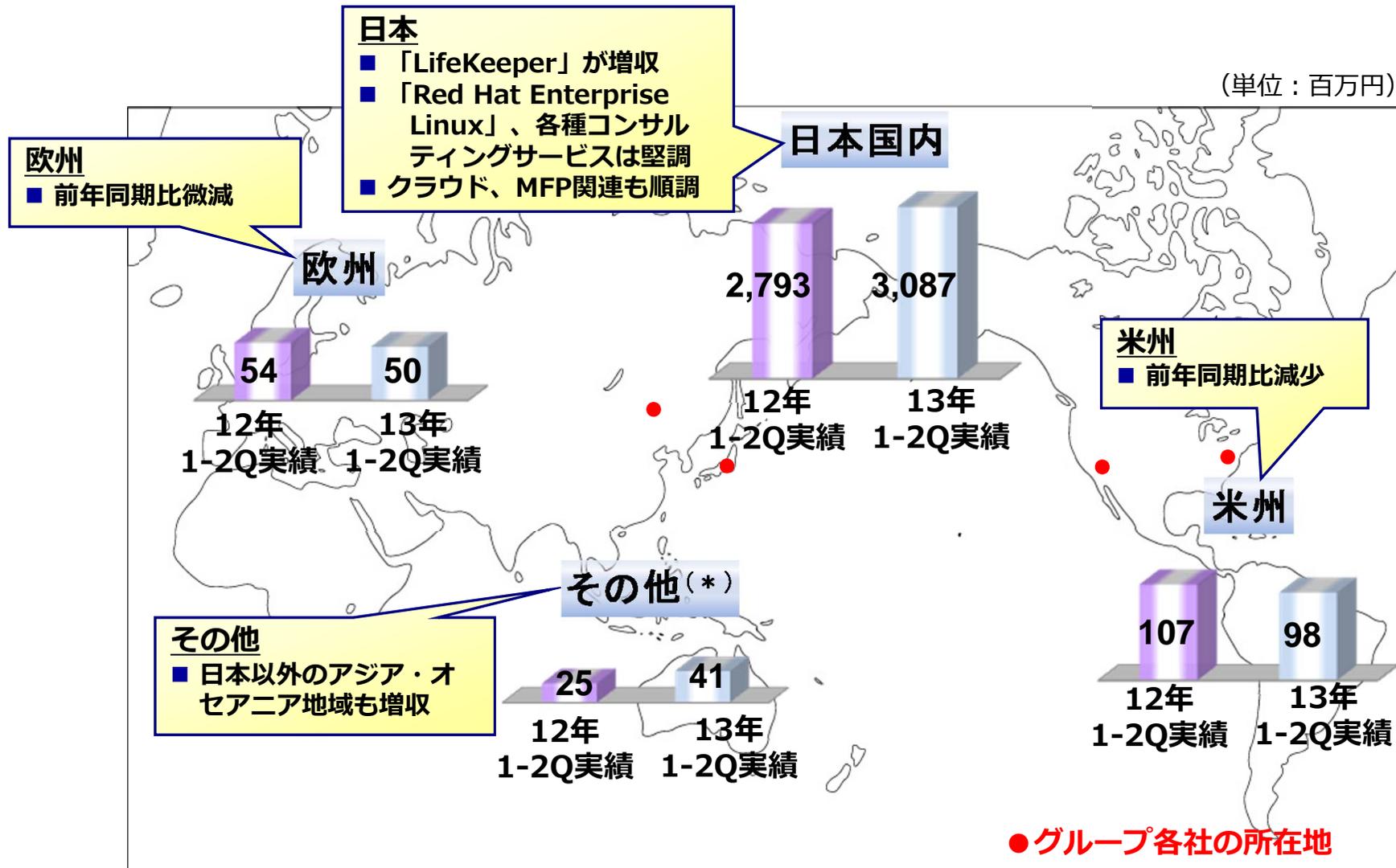
- **顧客基盤を一層強化**
 - 需要の拡大が見込まれる中部圏を中心に、当社製品・サービスのさらなる提供拡大

- **東京本社を中心に営業活動開始**
- **2009年12月 関西営業所を開設**
- **2013年7月 中部営業所を開設**

- **設立する営業所の概要**
 - サイオテクノロジー株式会社
中部営業所
 - 愛知県名古屋市中村区
名駅4-6-23
 - 開設日：2013年7月29日



地域別売上高の状況



※ 1 ドル当たり12年は79.81円、13年は95.73円で換算

2013年12月期 第2四半期 貸借対照表 (連結)



単位：百万円	12年12月末	13年6月末	増減
流動資産合計	2,662	2,746	+83
(現金・預金)	1,586	1,707	+121
(売掛金、その他)	1,076	1,038	△ 38
固定資産合計	342	482	+139
(のれん)	39	33	△ 6
資産合計	3,005	3,228	+223
流動負債合計	1,374	1,421	+46
(1年内返済長期借入金)	5	5	+0
固定負債合計	117	113	△ 4
(長期借入金)	11	8	△ 2
負債合計	1,491	1,534	+42
純資産合計	1,514	1,694	+180
(為替換算調整勘定)	△ 340	△ 265	+74
負債純資産合計	3,005	3,228	+223

■ 財政状態

現金・預金 +121百万円増加
 ➤ **手元資金は17億円へ** (今後の戦略を加速するための潤沢な資金)

固定資産
 ➤ **本社移転にともなう差入保証金 +160百万円増加等** (前本社の差入保証金の約180百万円は下期に入金)

有利子負債は僅少
 ➤ **実質無借金経営**

自己資本比率 52.3% (前期末は50.2%)
 ➤ **堅調な業績を背景に純資産は継続して増加**

利益剰余金 37百万円 (前期末は△53百万円) **へプラスへ転換**
 ➤ **当期は5円の増配予想** (前期は3円〔株式分割補正後〕)

2013年12月期 第2四半期 キャッシュ・フロー（連結）



単位：百万円	12年12月期 1-2Q実績	13年12月期 1-2Q実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	315	207	△ 107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 41	△ 165	△ 124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2	△ 17	△ 14
現金及び現金同等物の増減額	279	121	△ 158
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,460	1,707	+247

<主な要因>

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー 207百万円

プラス要因：税金等調整前四半期純利益167百万円、前受金の増加81百万円等
 マイナス要因：法人税等の支払110百万円等

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー △165百万円

マイナス要因：差入保証金の差入161百万円、有形固定資産の取得13百万円等
 （但し、移転前事務所の差入保証金の戻り約180百万円は下期にプラス要因）

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー △17百万円

プラス要因：ストックオプションの行使13百万円等
 マイナス要因：配当金の支払25百万円等

株主への利益還元



■ 当期配当予想（2013年12月期）

- 現時点での業績予想を前提に、1株当たり**5円**〔前期は1株当たり3円（株式分割補正後）〕の**増配を予定**しており、**配当性向31.0%**となる見込み

	第15期 2011年12月期 (前々期)	第16期 2012年12月期 (前期)	第17期 2013年12月期 (当期予定)
年間配当	0.00円	3.00円 ^(*)	5.00円

(*) 2013年7月1日付で1株につき100株の株式分割を実施しているため、前期の年間配当は株式分割補正後の値を記載

■ 配当方針

- 経営成績、財政状態および今後の事業展開を勘案し、必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を継続していく方針

2. 中期事業戦略と2013年12月期業績予想



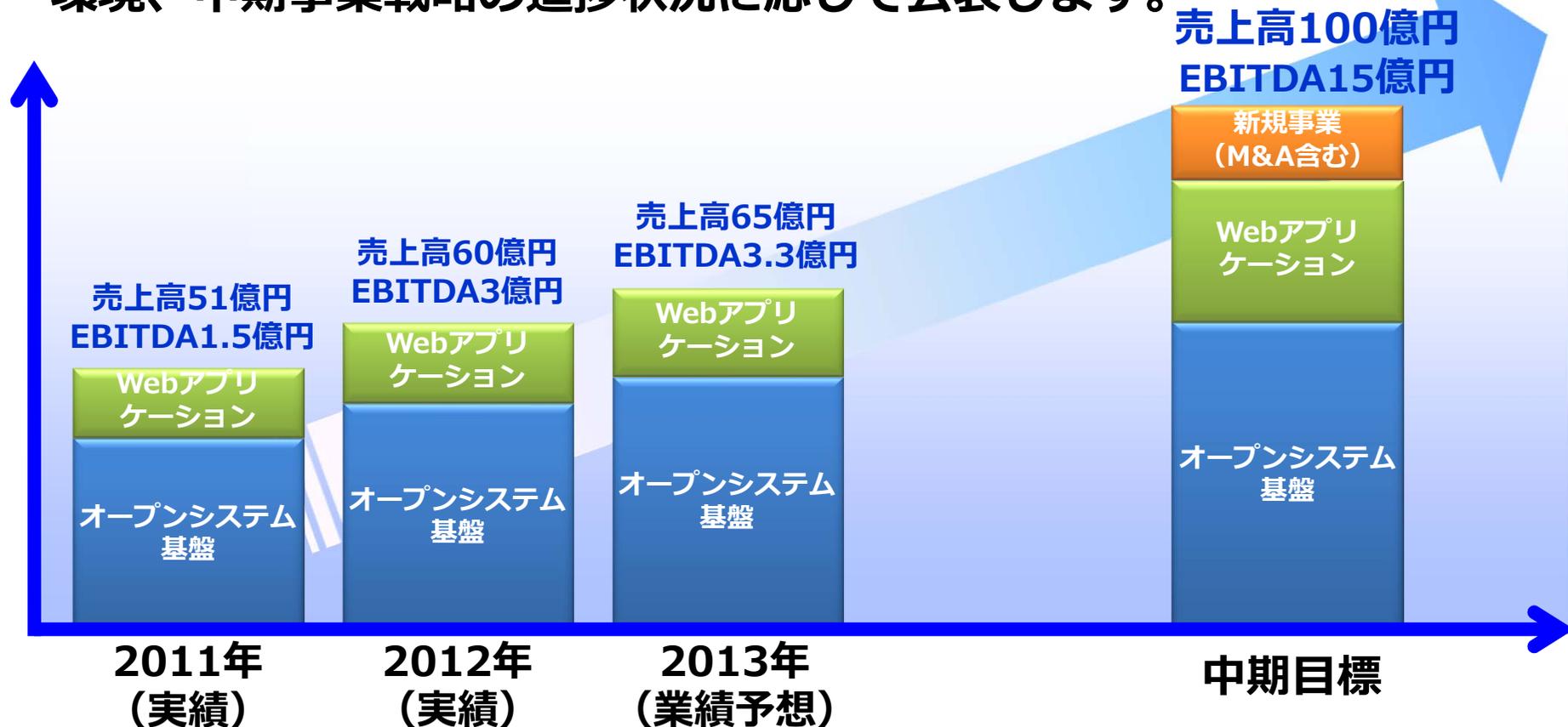
中期目標数値について

当社グループは、中期的に

売上高100億円、EBITDA15億円を目指します。

(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額)

なお、実現目標時期については、世界経済状況や当社を取り巻く事業環境、中期事業戦略の進捗状況に応じて公表します。



2013年12月期 通期業績予想



先行投資的な費用によりコストは増加する見込みだが、増収がこれら費用を吸収し、営業利益は増加を見込む

■ 堅調な事業成長を見込む

売上高

- 「LifeKeeper」「Red Hat Enterprise Linux」は、引き続き堅調な売上を見込む
- クラウド関連、MFP関連の製品・サービスの提供に引き続き注力

売上原価・販管費

- 既存ビジネス拡大および新サービス向けの研究開発や営業コストの増加を見込むが、増収により営業利益は増加予定
 - 米国子会社のれん償却は2012年6月で終了
- ※新オフィス移転に伴うコストは業績予想に織り込み済み

単位：百万円	12年12月期 実績	13年12月期 予想	増減額	増減率
売上高	6,029	6,500	+471	+7.8%
営業利益	111	260	+149	+133.8%
経常利益	106	260	+154	+144.4%
当期純利益	34	140	+106	+306.4%
EBITDA	293	330	+37	+12.6%

▶ 期初の業績予想から修正はありません。

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

オープンシステム基盤事業

- 自社製品の「**LifeKeeper**」の更なる拡販
⇒ 製品機能の強化、販売パートナーとの関係強化
- 成長市場の**超高速デバイスSSD** *への対応
- 「**Red Hat Enterprise Linux**」を始めとする**OSS**関連ビジネスにおける競争優位性の確立
⇒ 営業・技術・マーケティングの機能強化
- OSSに関する調査・解析、テクニカルサポート等を行う「**サイオスOSSよろず相談室**」サービス拡充

Webアプリケーション事業

- **MFP関連ソリューションの提供拡大**
⇒ 継続的な機能強化および営業活動の強化
- **クラウド関連の製品・サービスの提供拡大**
⇒ 当社独自の Google Apps™ の機能拡張サービス「Gluegent」シリーズの提供拡大
- **「ビッグデータ、ソーシャル、スマートデバイス、O2Oソリューション」を活用した新たなサービスを推進**

ご参考

◇サイオステクノロジーについて

◇用語集

Software for Innovative Open Solutions

サイオステクノロジーは、1997年の創業以来、**オープンソースソフトウェア (OSS)** を軸に、WebアプリケーションやOS（基本ソフトウェア）、ITシステムの開発/基盤構築/運用サポート等の事業を展開し、現在はこれらに**クラウド**技術を加え、新たな価値創造とそのご提供に取り組んでおります。

これからもテクノロジー集団として、**革新的なソフトウェア技術**を追求し、**世界のIT産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」**となつて価値を創造・提供することで、社会の発展に貢献してまいります。

(2013年6月30日現在)

本社：東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

資本金：1,481百万円

設立：1997年5月23日

社員数※：連結203名

連結子会社：

SIOS Technology Corp. (米)、赛欧思 (北京) 科技 (中)、グルージェント (日)、
SIIIS (日)、ストックラボラトリー (日)

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

用語集



頁	用語	説明
3	Red Hat Enterprise Linux	世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
3	OSS(オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
3	LifeKeeper	米国子会社SIOS Technology Corp. (旧SteelEye Technology, Inc.) の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA (ハイアベイラビリティ) クラスターソフトウェア。
4	MFP関連ソリューション	MFP(Multi Function Peripheralの略、1台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAXなどの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと。)上で操作できる文書管理ソフト「Quickスキャン」等。
7	サイオスOSSよろず相談室	OSSに関する調査・解析・アドバイス等を提供するサポートサービス。
9	Google Apps™	メール・カレンダー・ドキュメント・ビデオ等、ビジネスで必要とされる基本機能がブラウザ上で使用できるGoogleが提供するクラウド型アプリケーション。
21	クラウド	コンピュータ処理をネットワーク (通常はインターネット) 経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
21	DataKeeper	米国子会社SIOS Technology Corp.の開発製品。データの複製をリアルタイムで別のバックアップサーバーに保存するソフトウェア。
21	JBoss Enterprise Middleware	オープンソリューションプロバイダーのRed Hat, Inc.が提供する企業向けオープンソースミドルウェア製品。
21	Gluegent Cloud Integration Services	Googleが提供する、メール、インスタントメッセージ、スケジュール管理、ワープロ・表計算等をパッケージにしたホスティング型アプリケーションサービス、Google Appsとお客様の既存の情報システムを直接連携させるサービス。
21	Gluegent Gate	各種クラウドサービスへのアクセスを特定のネットワークや許可された端末のみに制限するなど、各社のポリシーに沿ったアクセス制御に加え、ID管理・シングルサインオンを実現するクラウドソリューション。
21	Gluegent Apps	回覧・承認・稟議といった社内のワークフローをクラウド化する、Google Apps拡張ソリューション。
21	ビッグデータソリューション	情報分析の高度化等を背景に非構造化データを含む大規模データの情報量が急激に増加しており、これらを従来より比較的低コストで処理できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。
21	Treasure Date Service	米国 Treasure Date, Inc. の技術を応用したビッグデータサービス。
21	ソーシャルメディアソリューション	インターネット上での社会的なつながりを促進・サポートするサービス。
21	SoBr	「Twitter」を通じて、ユーザーの声等を企業活動に効率的に活用する、子会社SIIISが提供するソーシャルメディア・マーケティングサービス。
21	FB良品	全国の自治体と提携し、地域の特産品等を販売する子会社SIIISが運営する通販サイト。
21	SIOS Smart Device Solution	スマートデバイスをビジネスで活用する際の設定作業、コンサルティング、運用支援からアプリ開発まで、トータルに支援するサービス。
21	O2Oソリューション	O2O (Online to Offline) の略、ネット上からネット外の実行動へと促し、購買行動に影響を与えるようなマーケティング支援サービス。
22	SSD	SSD (Solid State Drive) の略、記憶媒体としてフラッシュメモリを用いるドライブ装置。ハードディスクドライブ(HDD)と同じ接続インタフェース(ATAなど)を備え、ハードディスクの代替として利用できる。

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

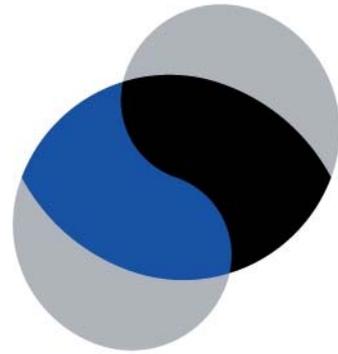
本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー (IR担当)

Tel : 03-6401-51111 (代表)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

→https://www.sios.com/ir/form-IR_ssl.html



SIOS